

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			十分な広さを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準よりも多く配置する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差がなくトイレ等に手すりを設置している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			○	全員の参画は見られないができるだけ参画できるように努力している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケート調査しているが一部の業務改善はできたと思う 意識の向上は行えている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			結果をホームページにて公表している または、事業所内に掲示している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者ではなく自己評価と保護者アンケートにて業務の改善を行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員のスキルの合わせた外部研修を積極的に取り入れている 定期的に社内研修(2か月に1回)行う。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントと保護者面談を行い計画書に反映している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		事業所で作った独自のアセスメントを用いている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月活動プログ。ラムをスタッフ全体で考え作成する。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			楽しく参加できるように少しずつアレンジしながら行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用時間等に応じ内容を変えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		個別と集団を組み合わせながら作成するように心がけている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝のミーティングで利用予定者の申し送り支援内容等を確認する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			翌日の朝のミーティングにて振り返りを行う また、申し送りノートを活用する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援経過を記載する。
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングを行い計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			行っている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参画する。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校や担任と情報共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		主治医との連携もあるが協力医との連携も行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	できるだけ行うようにしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		会議等を利用し卒業者に対し保護者の了承を得て本人の状況、支援内容、個別計画書等を情報提供する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修にはできるだけ参加する。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	近隣の保育園が高齢者に慰問に来たときに一緒に交流する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		協議会の役員を行い協議会運営を行うスタッフも積極的に参加する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や連絡帳などを用いて細かく情報共有を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		丁寧な説明を行う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		話しを傾聴し必要な助言を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		移転後に保護者参加型の卒業式をおこなった。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情があった場合は現状を確認し体制等の問題であれば迅速に改善できるようにする。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	定期的ではないが連絡帳を用いて情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		十分に注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		環境や状況を配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今後行っていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアル作成いつでも閲覧できるところに保管している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	半年に1回は避難訓練、防災訓練をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	定期的に内外の研修に参加する。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	身体拘束については重要事項にて説明する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○ 該当者なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	事業所内で起きたヒヤリハットを閲覧できるようにしている。